

こどもにーを応援してくださる皆様へ

新年あけましておめでとうございます

今年のお正月は寒波がやるときに寒、冬を迎えているネーさんと
思いますが、ゆっくりと過ごされていまあか?

こどもにーの年末は、子どもと一緒に大掃除をしたあと、
スタッフのわらわの結婚を祝うサロライズパーティーをしました。
子どもとスタッフのお祝いメッセージを動画に撮って、中學生が編集
してくれました。

わらわに内緒でメッセージ動画を撮ったときの一人に、フリースクール
のOBで、とても恥じずかしがりやで、人前で話すが苦手な子がいました。
彼は少し悩んだあと「15分、時間ちょうだい。準備できたらけろを
呼ぶから、ネーが別の部屋で待っていると、何度も練習している、彼の
声が聴こえてきました。苦手なことも、彼のわらわへの想い、超越
させたんだなあと思えます。そこにはわらわと、長い歴史があるんですよ
人と人のつながりは、シナリオにできない関係性を積み上げていく...
こんなことを感じながら新しい年を迎えました。

今年も皆様にとって素敵な一年であります
ように。そしてこどもにーを今年も支えて
くださいますようお願いいたします。



右巻より感謝を込めて 田中雅子



かまどで火が焚ける幸せな空間

新年あけましておめでとうございます。

昨年の猛暑に代わり、寒い冬をお過ごしのことと思いますが、楽しいお正月を迎えていますでしょうか？

去年は、私がボランティアの時代から子どもの遊びと居場所できてくれた“プレーパークわたのは”にお別れを告げ、新たな拠点をつくり始めた年でした。

これまで延4万人以上の子どもと過ごし、自分たちの『居場所』をつくってきました。

なーんにもない空き地に、「サッカーをやりたい」という声があがれば、みんなでサッカーゴールをつくったこともあります。

流れ着いた漁網だと思い、ゴールのネットにしたら「それはゴミ置き場のネットだ」と近所のおじいちゃんに注意されたな～(笑)

解体しているお家から木材をいただいて、遊具や秘密基地をつくる常連の子どもたちが、ある日「近くで家を解体していたからもらいに行こう」と私に言ってきたので「よーし、これから交渉に行くべ」と言うと、「もう話はつけてきたからもらいに行けるよ」と、小学生の男子チームが頼もしくみえた、そんなこともありました。

思い出を話しだすと泉のように湧いてきます。

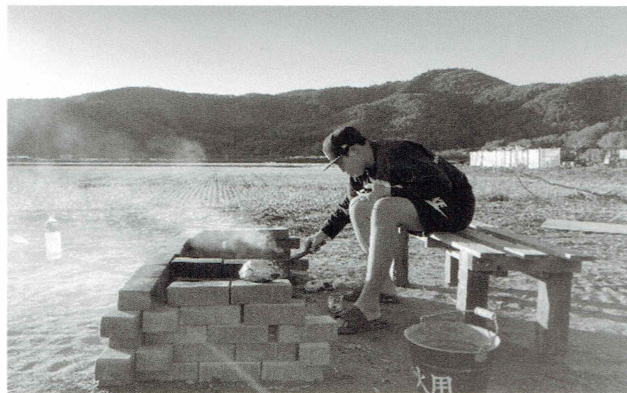
そんな思い出がたくさん詰まったプレーパークの解体作業中は、何度も涙がでましたよ…

そして今、新しいプレーパークを14年前と同じように、なにもないところからつくっています。

あまり深く考えないまま計画をすすめてきましたが、冷静に考えると、あの頃から14歳年を取っていて、わたし大丈夫？なんて思ったりもします(笑)でもね、まだ、なにもない“新プレーパークわたのは”で、樹木に小さなツリーハウスをつくり、垂れ下がるツルでターザンロープをやり、雨が降ったあとの大きな水たまりで、船をつくり、小さな石での水切りが、いつか大きな石で爆弾投下の遊びに移り変わっていく…そんな子どもの遊ぶ姿を見て、「あ～私は、この子たちと一緒にもう一度プレーパークをつくるんだな～。楽しいな～」と思っているのでもだまだいきますよ～♡

みんなでつくるから、私の年齢は関係ない♪夕日を浴びながら、一人かまどで火を焚く子どもの姿を試みたことがあります？ここはそれができる場所だから私は大好きです。

今年もこんな感じでよろしくお願いします。



代表理事 田中雅子(通称:けろ)

☆認定 NPO 法人こども∞感ばにー(愛称:こどはにー)とは…

2011 年の東日本大震災後、宮城県石巻市の地域の大人とともに子どものあそび場づくりをきっかけに活動が始まりました。私たちは“子どもの笑顔が地域のなかで育まれるまに”を理念に、地域のみんなと一緒にプレーパークやフリースクール事業を行っている団体です。

スタッフからの ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます！2025 年もこどばにーの活動を支えていただき、応援していただき、温かく見守っていただき、本当にありがとうございます！

今年もスタッフ一人ひとりの抱負を紹介し、新年の挨拶とさせていただきます(^^)♪

田中雅子(けろ)

統括リーダー



今年は自分の時間を
楽しみつつ、こど
ばにーの基盤をし
っかり固めて、第二
ステージに飛び込
みますよ～

塩田大介(なおたろう)

児童クラブ担当



今年も
痩せるぞー！

千葉拓己(ロッキー)

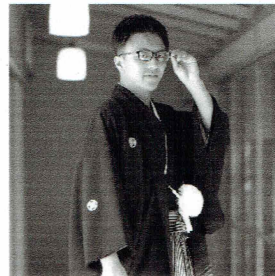
プレーパーク担当



改めて自分を
『振り返る』
年にします。

佐藤和幸(わこう)

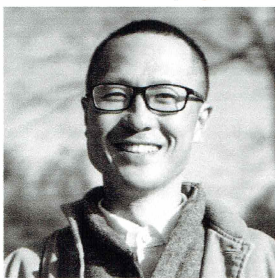
フリースクール・広報担当



新婚生活と Last20
代を満喫します！
ゆる～く生きてい
こう。

野津裕二郎(ゆうじろう)

プレーパーク担当



「あそび」が石巻
を救うと本気で
思っています。
ばちこいっ！

今野由美(ちゃんゆみ)

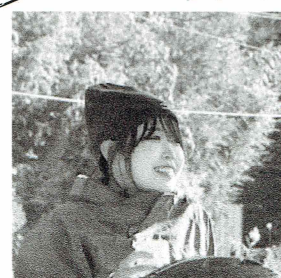
プレーパーク・広報担当



たくさんの地域の
方々と交流し、ごち
やまぜの居場所す
るぞ！

菅原遥(わらちゃん)

プレーパーク担当



初めまして！
こどもと地域を
つなぐ協力隊の
わらちゃんです！

森美聖(みとちゃん)

フリースクール担当



今年の漢字は「仁」
です。行動の根源に
思いやりを持つこ
とを忘れない！

菊田元子(もっちゃん)

児童クラブ担当



今年も笑顔いっぱい
いで、子どもたちを
笑わせていきます♪

横山彰子(ふった)

児童クラブ担当



子どもたちの元気
な声、笑顔のある
居場所を作る
大人でいたい(^^)

吉川結衣(ゆいちゃん)

児童クラブ担当



「楽しい！」も「モヤ
モヤ」も出せる場所
を作れるように、今
年もコツコツ頑張り
ます

米倉勝巳(よねよね)

児童クラブ担当



3 月末で退職し
ますが最後まで
全力で楽しみま
す

高梨萌都(もっさん)

児童クラブ担当



1 月末をもって退職す
ることとなりました。
大学 4 年間関わらせ
ていただきありがと
うございました！

新スタッフ

堀内賢市(けんちゃん)

児童クラブ担当



「一緒に遊ぼう」と
言ってくれる子が
できること目標に
しています！

鈴木かよ子(かよちゃん)

児童クラブ担当



一人ひとり伸び伸
びと大きくなってね
～！楽しく過ごせ
る居場所のお手伝
いです。よろしくお
願いします。

新スタッフ

阿部美由貴(みーさん)

事務局担当



初心と感謝の気持
ちを忘れずに、一歩
ずつ頑張ります！



ごちゃまぜプロジェクト

渡波・鹿妻地区で広大な敷地に子どもの遊びと居場所、学びの場をつくり運営するプロジェクト。全ての子どもが利用でき、ここを訪れる地域住民や保護者、行政や学校、民間企業・NPO 等、多様な大人が『地域の子どもは地域で見守り育てる』を合言葉に子どもの成長を日常的に支えています。



新プレわた“よろしく祭り”開催



11月22日、新プレわたにて、地域の皆さんへ向けた『よろしく祭り』を開催しました。約80名の方々が足を運んでくださり、初めてとは思えないほどあたたかな場が広がりました。

前日から地域の皆さんが豚汁の仕込みをしてくださり、当日は以前のプレーパークでは出来なくなってしまった「かまど」をくみ、そこでじっくり煮込んだ豚汁が、みんなのお腹を満たしてくれました。

この日は、レンガを積んで、薪をくべて火をつける、かまどでは、新米のご飯を羽釜で炊いて、その工程が私は初めてで、家電に慣れた身としては、また一つ生きる術を身につけられた気持ちです。

昔遊びコーナーでは、地域のおじいちゃんが子どもたちにベーゴマを教えてくれて、大人も本気で楽しむ姿がありました。

みんなそれぞれの過ごし方で楽しんでくれていて、とても嬉しい気持ちになりました。

新しい場所での挑戦は不安もありましたが、地域の皆さんの力や温かさに触れたことで、「地域の皆さんと共に」を改めて大切にしていきたいと思いました。

(ちゃんゆみ)



子どももおとなも地域も挑戦の連続だ！

始まったばかりの「ごちゃまぜプロジェクト」には、すでに多くの地域の大人たちが関わり、力を貸してくれています。土地の申請や契約、整地作業、遊具やビニールハウスの移転、そして子どもの安全を守るための細やかな整備まで、専門技術を持つ大人のかけこみで、いい仕事っぷりに助けられています。

プレーパークで子どもたちが創り出す「あそび」は、挑戦と失敗の連続。でもその過程で見つけるワクワクや手ごたえこそが、一生ものの宝物になります！だからこそ私たちは、遊びの力を信じ、このプロジェクトに挑んでいます。渡波地域全体を巻き込み、大人も子どもも皆で挑戦も失敗も味わい尽くすこのプロジェクト！ぜひあなたの参加もお待ちしております！

(ゆうじろう)



新 プレーパーク わたの は ひがこー

生きたあそび場

新天地でゼロから始まった“新プレーパークわたのは”。

今回は日々変化が起こるあそび場の紹介をしたいと思います！



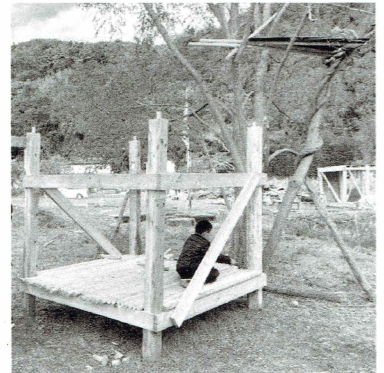
①くつろぎ空間

手作りの椅子でまったりタイム。
たき火で食材を焼いてモグモグ。
思いっきり遊んだ後は思いっきり
休憩もします！



②自生している木

新プレわたには木があります！
木登りをしたり、ツリーハウスを
つくったり…。その遊び方は無限大♪



③どんどん生まれる遊具たち

秘密基地、トランポリン、ミニ滑
り台…。毎日のように生まれ、
壊れ、生まれ変わる遊具たち。
子どもたちの想像力と創造力
には、日々驚かされます！

子どもと一緒に初の椅子作り

はじめまして！地域おこし協力隊のわらちゃんです。

9月からインターン生として、こどばにーのプレーパークを中心にに関わり始め、まだ日は浅い私ですが、ここで過ごす時間は毎回いろんな発見で満ちています。



先日は子どもたちと一緒に、手さぐりで椅子づくりに挑戦しました。私は工具を使う経験がほとんどなく、「どうしたら椅子になるんだろう？」と子どもと同じ目線で迷いながら、釘を打ち、ぐらつきを直し…試行錯誤を重ねました。

今でもできあがった椅子にみんなで腰を下ろした瞬間の、ずっと広がるうれしさが忘れられません。これからも子どもたちとゆっくり一緒に発見を楽しんでいきたいと思っています。これからよろしくお願いします◎(わらちゃん)

雨でも遊べるぜ～♪

雨の日でも開催しているプレーパークひがこー。雨が降っていても遊びはどんどん発展していきます！

最初はなんの変哲もないロープ遊び。それがブランコに変化。靴で乗っていたからロープは泥だらけ。それを逆手にとってお尻で座らない遊びになったり、ブランコのように漕ぎながら水たまりに触らないギリギリを攻めるゲームを始めたり…。

火・水・土・木など、どんどん変化する自然の素材に、子どもの柔軟な発想が加わると、遊びの化学変化が生まれます。子どもにはそんな「自分で考えてつくりだす力」が備わっており、遊びを通してその力を育てているのかもしれないね^^

【プレーパークわたのは】
毎週土・日曜日 10:00～16:00
所在地:石巻市渡波大林下 130

【プレーパークひがこー】
毎週水曜日 15:00～17:00
所在地:石巻市鹿妻南2-7
(鹿妻東公園)

詳しい場所や
活動の様子は
こちらから



フリースクール ぽはく

毎週火・木・金曜日

10:00～16:00

当会事務所1階で開催

体験無料

減免制度あり

フリースクールの
活動の様子は
こちらから

↓↓↓



地域の方とのパークゴルフ

11月のお出かけ先はパークゴルフ。

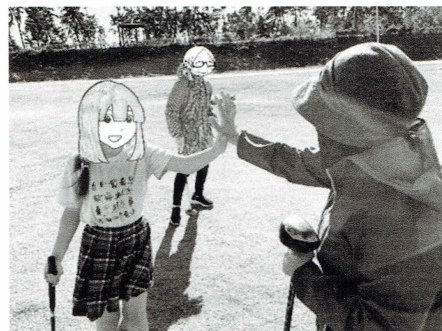
子どもたちはもちろん、スタッフも初めてやる人ばかりの中で、やり方を教えてくれたのは地域の方たち。

毎日健康のためにパークゴルフをやっている地域の方たちが子どもたちのために集まり、ルールを教えながら一緒にコースを回ってくれました！

どんなショットでも「ナイスショット！」と声をかけてくれて、穴に入ったら一緒に喜んでくれる地域の方たち。

その優しさとパークゴルフの楽しさで、最初は「やらない」と話していた子どもも、最後には地域の方とハイタッチし、できた達成感で満ちていました！

あまりにも楽しかった子どもたち。帰ってきたら、ぽはくでもできないかと木材でパークゴルフの用具を作りし、近くの公園で遊んでいました～！



(わこう)

ハッピーハロウィン！

誰かわからない！ってくらい完璧に仮装をしてきた子がいたり、死神がいたり、低予算侍がいたり、プリンセスがいたり、保護者の方も海賊になったり、わこうもオタクカメラマンになりきったり…個性豊かなメンバーで街中にも繰り出し、往復40分もかけて団体さんを回りました！



地域の方もお菓子を用意して待っていてくれて、改めて皆さんに見守っていただき活動することができていると再確認した一日でした。

お礼の品は自分たちで作ったクッキー！

つまみ食いをしつつ150枚ものクッキーを作ることができました。

どんな形が喜んでくれるかなど、子どもたちが一生懸命考えて作ったクッキーを喜んでもらえて嬉しかったです！

(みとちゃん)

交流会の裏にある成長

今年2回目となる石巻市学びサポートセンター“コイル”、民間の“TEDIC”とこどばにーの3団体交流会。

12月の寒空の下で様々な企画が行われ、それぞれの団体の子どももスタッフもごちゃまぜで交流ができ、楽しい会となりました！

そんな『様々な企画』を考えるための合同子ども会議を、実は事前に2回

開催。ぽはくからは2名の小学生が参加し、そのうち1名は前回も実行委員として一緒に企画しました。

前回は「実行委員で何をやりたいのか」をなかなか言語化できなかった彼女ですが、今回は「企画のルール説明をする係をやりたい」と言語化し、他の委員に伝えることができました。

交流会自体も子どもにとっては大切な機会ですが、「企画をする」過程も子どもの成長にとってとても大切な時間なのだと感じました。

(わこう)

私はこれがやりたい！



合同子ども会議
・実行委員
・副実行委員

うほほーい



数字が物語る子どもの「声」

其の14

学校に行かない・行けない子どもについて、けろがメッセージをお届けするコーナー
そしてここでは、彼らを「ピカリちゃん」と呼びますね。
理由はどんな子どもも**ピカリ**と輝いているから

文部科学省の毎年の調査で、2024年度のピカリちゃん数が発表されました。

全国のピカリちゃん数は35万3970人。前年より7,488人増加とのことです。

例年より増加数が緩やかになった理由としては、『無理に登校を促さない』方針が浸透し、早期の支援が進んだことで子どもを追い詰めない方向に働いたり、ピカリちゃんが特別なことでない認識が広がったのかもしれません。

でも、増え続け、その数は過去最多であることは変わりません。

子どもには教育を受ける権利がありますが、35万人以上の子どもたちがその権利を受けられていない訳で、またピカリちゃんにはなっていないけど、頑張っている子どもが水面下にいるのは間違いあり

ません。

誤解しないでほしいのですが、今の学校教育を否定している訳ではありません。学校の先生も教育委員会も、みんなみんな『子どものことを大切に思っている』ことはとても理解しています。

ただ、この35万人という数は、私たち大人に子どもが伝えてくれている『声』に思えてなりません。学びとは自分のためにおこなうもの。興味があること、楽しくワクワクすること、新たな発見がその子の育ちにつながるのだと思います。

『学び』とはなにか、真剣に考え直す時期に来ているのではないだろうか (けろ)

ことばにーラジオのアーカイブが YouTubeで聴けます

→ピカリちゃんの現状について
11月に放送したものです



ほうかご!



児童クラブ

土曜開所はスペシャルDAY♪

児童クラブでは月1回の土曜開所日があります。通常日とは違い、ピクニックに行ったり作り物をしたり、ゲーム大会など、いろいろな楽しみ方をしています。

今回は「好きな物を焼いてみよう!」と題し、子どもたちは焼きたい物を持って来ました。

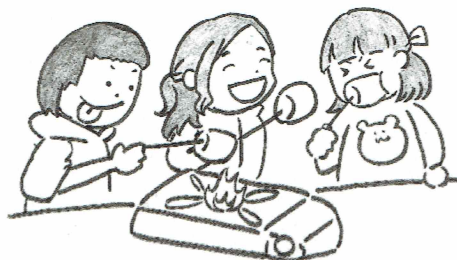
私は「王道のウインナーかな?」と思っていましたが、実際は焼き肉にタレ、塩味、大きい餅、干し芋などバラエティ豊かでした。

「焼き始めるよ〜」の声に、こども達は手を丁寧に洗い、マスクと手袋を付けて準備完了。

室内でホットプレートを使って焼きましたが、どの子も慣れた手つき。中でもバターコーンは大人気で、焼きキウイも美味でした♪湯煎した板チョコにマシュマロをつけて食べる姿も。

私は、これまで様々な児童クラブで勤めてきましたが、今回のような体験は他の児童クラブではなかなか出来ないことばかり。

子どもの好奇心、挑戦、体験は将来につながる大切な力です。チョコまみれの満面の笑みを見るたび、これからたくさん体験させてあげたいと思いました。土曜開所日が子ども達にとってスペシャルな日であるような児童クラブでありたいです。 (ふった)



同じ想いを 持つ人たちの

ネットワーク活動

まーいいね

柔軟な対応が心を軽くする

今回で 5 回目となる『不登校』シンポジウムは、“多様な学びをみんなで考えよう”をテーマに、当事者の保護者 2 名が登壇し、我が子が学校に行かなくなった時の悩んだこと、でも気持ちを切り替えて受け入れたことなどお話ししていただきました。

その後のワールドカフェでは、現役の高校生の一人がこんなことを話してくれました。

「規則に縛られない、柔軟な対応をしてもらえていたら中学校に行けていたかもしれない。」

今彼女は、高校でチームを組み、学校に行かないことを選択した子どものサポートをやろうとしています。

自分の経験から、今の子どもたちのためにアクションを起こすエネルギー♪すごいな～

私たち大人にできることがあれば手伝うよ…と一瞬思いましたが、過程を守らせてもらうことにします。応援しているよ～♪ (けろ)

●まずは石巻から“不登校”という言葉がなくすネットワーク

(愛称:まーいいね)

「子ども一人ひとりが、自分にあった学びの場に出会い、安心して暮らせる社会をつくる」を理念に、2021年5月に設立。多様な分野の市民が集って活動しています。

石の会

支援者たちが新フレした集合◎

新プレーパークわたのはで、石の会主催の「子ども支援者交流会」を開催し、支援者 12 名と子ども 4 名が参加しました。焚き火を囲い、コーヒーを味わい、工作や落ち葉で遊んだり、思い思いの過ごし方でゆるやかにつながる時間となりました。

中でも印象的だったのは、震災後、北上で開催されていた“うらやまプレーパーク”に通っていた、当時小学生が大人になり、「自分の地域でプレーパークをつくりたい」と語ってくれたことです。

10 数年を経て再会し、子どもの頃の思い出と今の仕事の話が自然につながった瞬間に、クが“子どものいま”と“未来”を結ぶ場であることを強く実感

ました。

また、仲間同士が活動の近況

を共有する場にもなり、開かれた空気が交流を後押ししました。

石の会では、こうした学びを生かしながら、来年度も『支援者がゆるやかにつながる場』を大切に育てていきたいです。

(なおたろう)

●石巻のプレーパークと子どもの遊びを考える会(愛称:石の会)

「もっと遊び場や居場所がほしい」という子どもの声から 2017 年 6 月に、石巻の子ども支援団体で設立。
“市内に 13 カ所の居場所をつくろう”を合い言葉に活動しています。



学びの場は学校だけではないことを、長野県として承認していることにとても驚きました。

みやねっこのこれからの活動にエネルギーをいただきました。 (けろ)

詳しく知りたい方はコチラ→

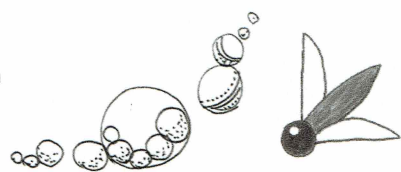
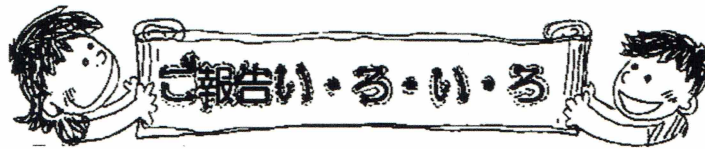
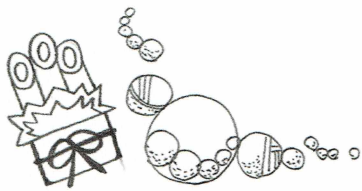


みやねっ

長野県に目からウロコ

今年の仙台フォーラムでは、信州大学から荒井英治郎氏をお招きして“信州型フリースクール認証制度”他、先駆的な取り組みについてお話しいただきました。

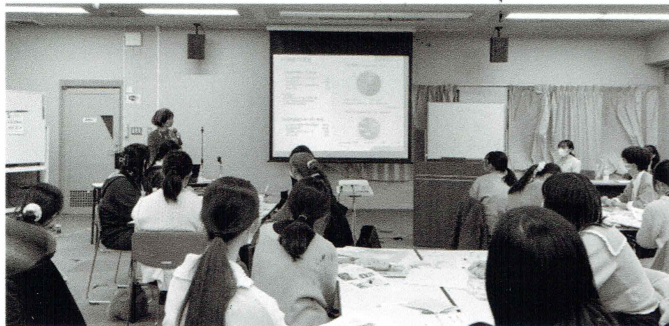
長野県では、学校に行かないことを選択した子どもに『多様な学びの場の確保・充実を図るために民間施設を認証し、財政支援を実施しています。』



素敵な大学生との出会い

教育格差をなくしたい！を理念に活動しているチャンスフォーチルドレンの大学生ボランティア約40名のみなさんに『子どもにとってどんな居場所でありたいか』と題してお話をさせていただきました。

みなさん、大きく頷きながら聴いてくれたのはもちろん



嬉しかったのですが、今回は私のお話会と同時に『居場所』についてのいくつかのワークショップを実施していて、そこで素敵な言葉と出会いました。「居場所ってなに？」の問いに、一人の大学生が“自分でつくる場所”と話していて、私は思わず、「なるほど～」と声を出していました。

自分の居場所を自分でつくる。これは一人ひとりの感性と意見を大切にしてくれる場所ということですよ♥ 素敵ですね。

そして、今回出会ったみなさんは、子どもの心に寄り添おうとする心が温かい若者たちばかりで、『日本の未来は大丈夫！！』とにやにやしながら帰路についた私でした。

(けろ)

女川小キャリア教育～将来への種まき～

女川小学校では毎年6年生の児童を対象にキャリアセミナーを開催しています。そんなキャリア教育の場に講師としてお邪魔してきました！キャリアセミナーの内容は『私の仕事』について。仕事内容ややりがい、今後自分がどんなことをしたいかなどをお話しました！

『ブレイワーカーの業務内容』という想像しづらい話を真剣な眼差しで聞いてくれる小学生たち。「ちゃんと伝わったかな…？」と少し不安でしたが、感想を聞いた時に、私が大切にしていることが言葉として残っていて良かったです。



気仙沼あそびーば一視察研修！

石巻から車で1時間ちょい。震災をきっかけに生まれた気仙沼の常設プレーパークへ訪問しました。まず素敵だったのが鈴木代表をはじめ、運営の皆さんのホックリ自然体なお出迎え！「おさがり部屋」で親子が洋服選びを楽しみ、外では合鴨や畑仕事のおじいさん、拠点のビニールハウスではおばちゃん衆のお茶っこ。多世代が混ざり合い、誰しもが居心地よく過ごせる空気が広がっていました。

この雰囲気は、対話を積み重ねてきたからこそ生まれたものだ実感。多くを学ばせていただきました。

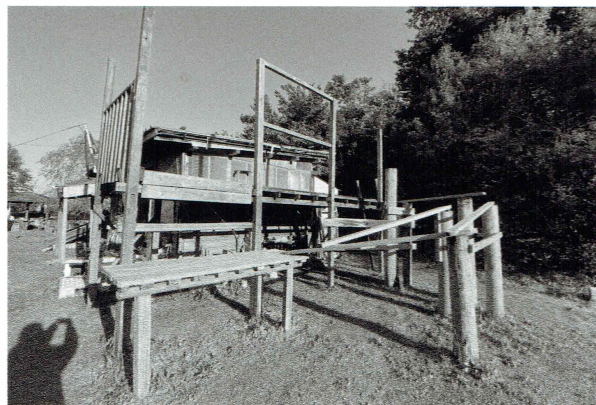


また、「ロッキーさんのお話が面白かったです」と多数の感想をいただけて嬉しかったです。(笑) 来年のキャリアセミナーにも既にお声がけいただいているので、小学生にもより伝わりやすいように1年間みっちり準備したいと思います！(笑)

(ロッキー)

受け入れてくださった一般社団法人気仙沼あそびーばーの会の皆さま、ありがとうございました。

(ゆうじろう)



事務局からのお知らせ

“みやぎチャレンジプロジェクト”に挑戦中！

～ゼロからつくる『未来の居場所』～

新しい拠点に移転した“プレーパークわたのは”は、子どもから大人まで集う“ごちゃまぜ”の居場所です。誰もが安心して過ごし、地域がつながるセーフティネットを目指します。

子どもたちの居場所を地域と一緒に育てるため、温かいご支援・ご協力をお願いします。(みー)

目標金額：250万円！（期間：12月1日～2月28日）

※詳細は同封のチラシを、ご覧ください！

ご協力をお願いいたします！



プレーパーク
活動ブログはこちら



クレジット寄付
はこちら



“焚き火力フェ”開催！

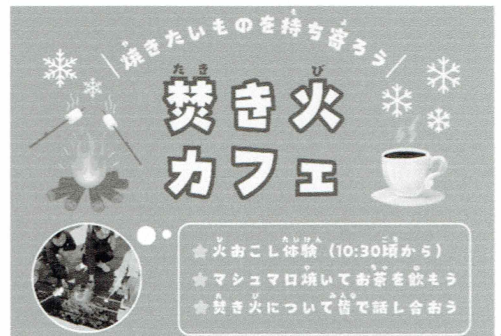
11月に開催した“よろしく祭り”から約2ヶ月。子どもたちは毎日のように焚き火体験を楽しんでいます！そこで、地域のみなさまと焚き火を囲みながらお茶っこを楽しみ、たき火についてのお話し合いを行います！

みなさま是非お越しください～！（ロッキー）

2026年1月25日(日)

午前11時開始

場所:プレーパークわたのは
(石巻市渡波大林下130)



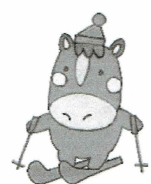
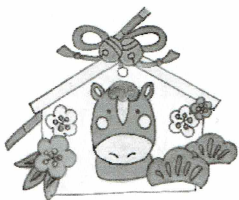
年末年始のお休みのお知らせ

いつも、温かいご支援・ご協力ありがとうございます。

本会では下記日程を年末年始休業とさせていただきます。

12月29日(月)～1月7日(水)

年始は、1月8日(木)より活動いたします。



こどばにー通信「だん子むし」発行元



認定 NPO 法人

こどばにー

宮城県石巻市鹿妻南 2-1-7

Mail: info@codopany.org

Tel: 070-2436-8517 (事務局)

HP: https://codopany.org/

◎継続サポーターのお願い

こどばにーの活動をみなさまのお力で支えてください。

サポート金額は月額 300 円から♡

子どもが第三の大人とつながり、安心して過ごせるセーフティネットの場づくりにご協力ください。

詳しくはこちら



◎活動報告の配信

☆こどばにーのこといろいろ
(けろの独り言も配信)

●Facebook

●Instagram



「いいね」してね♡

